

地域防災訓練

取り組みの概要

災害に強いまちづくりの基本である「自らの命は自ら守る」の観点から、避難所ごとの住民、防災関係機関等が一体となり地区連合町内会と共催で実施しています。初期消火や応急手当、炊き出しなど、災害時に必要となる様々な活動の訓練を行います。

協働の きっかけ

平成 5 年 1 月 1 5 日に発生した釧路沖地震（M7.8、帯広市震度5）を教訓に、住民参加型の防災訓練として 8 月 3 0 日～ 9 月 5 日の防災週間に合わせて実施しています。

危機対策課



地区連合町内会・ 企業等・自衛隊・消防団・行政

・地域における自主防災組織の活動を推進することができる。

強み

・訓練を行うことにより、災害に役立つ知識・技術を習得できる。

・防災関係機関との協力・連携
・訓練の実施

役割

・訓練への参加・実施

協働の 成果

避難訓練、初期消火訓練、応急手当訓練等、住民参加型の訓練を行うことにより、災害に役立つ知識・技術を習得し、地域における自主防災組織の活動を推進することができます。

協働のポイント

幅広い年代層へ十分な周知を行い、若年層も含めた多くの参加を促します。

